

平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 諸富 滋 TEL 03-5205-7206
コーポレートコミュニケーション部長

四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 平成28年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	174,056	△2.7	15,334	△31.8	13,681	△31.9	10,763	13.0
27年12月期第2四半期	178,837	10.5	22,469	22.0	20,079	19.1	9,523	3.7

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 △13,051百万円 (-%) 27年12月期第2四半期 14,243百万円 (113.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	19.67	19.65
27年12月期第2四半期	17.40	17.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	686,560	595,027	86.6
27年12月期	720,764	614,858	85.2

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 594,531百万円 27年12月期 614,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	12.50	—	12.50	25.00
28年12月期	—	12.50	—	—	—
28年12月期 (予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	344,000	△5.6	32,000	△26.9	26,000	△33.7	18,000	△39.5	32.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期2Q	576,483,555株	27年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	29,258,941株	27年12月期	29,256,749株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期2Q	547,225,777株	27年12月期2Q	547,312,978株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年1月1日から6月30日までの6か月間）の売上高は1,740億円（前年同期比2.7%減）、営業利益は153億円（同31.8%減）、経常利益は136億円（同31.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は107億円（同13.0%増）となりました。なお、2016-2020年中期経営計画の経営目標に掲げるコア営業利益（営業利益+のれん償却額+持分法投資損益）は197億円（同26.5%減）となりました。

- ◎ 売上高及び営業利益は、新製品の伸長があったものの、為替影響や研究開発費の増加等により減収減益となりました。
- ◎ 経常利益も減益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益等の特別利益の増加により増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

① 業績

医薬事業の売上高は、1,322億円（前年同期比2.3%減）となり、営業利益は116億円（同37.2%減）となりました。

- ◎ 日本の売上高は、4月に実施された薬価基準引下げの影響がありましたが、新製品の伸長等により前年同期を上回りました。
 - ・主力製品の持続型赤血球造血刺激因子製剤「ネスプ」や二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」は堅調に推移し、売上高が前年同期を上回りました。
 - ・持続型G-C-S-F製剤「ジーラスタ」、パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」、2型糖尿病治療剤「オングリザ」及び尋常性乾癬治療剤「ドボベット」等の新製品は順調に伸長しました。
 - ・抗アレルギー剤「アレロック」、高血圧症・狭心症治療剤「コニール」、好中球減少症治療剤「グラン」等の長期収載品は、後発医薬品の浸透等の影響を受けて売上高が減少しました。
- ◎ 海外の売上高は、為替影響や技術収入の減少等により前年同期を下回りました。
 - ・欧州及び米州では、癌疼痛治療剤「Abstral」及び「PecFent」等が伸長したものの、技術収入の減少等により売上高は前年同期を下回りました。
 - ・オピオイド誘発性便秘治療剤「Moventig」の欧州における販売権をアストラゼネカ社から取得し、4月から販売しております。
 - ・アジアでは、中国や韓国を中心に堅調に推移したものの、為替の円高進行もあり売上高は前年同期を下回りました。

② 研究開発

当社では、抗体技術を核にした最先端のバイオテクノロジーを駆使し、腎、がん、免疫・アレルギー、中枢神経の各カテゴリーを研究開発の中心に据え、資源を効率的に投入することにより、新たな医療価値の創造と創薬の更なるスピードアップを目指しております。

当第2四半期連結累計期間における主な後期開発品の開発状況は次のとおりであります。

腎カテゴリー

- ・日本においてカルシウム受容体作動薬KHK7580の血液透析施行中の二次性副甲状腺機能亢進症を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。
- ・日本においてRTA 402の2型糖尿病を合併する慢性腎臓病を対象とした第Ⅱ相臨床試験を実施中です。
- ・中国において持続型赤血球造血刺激因子製剤KRN321（日本製品名「ネスプ」）の透析施行中の腎性貧血を効能・効果とする承認申請を2月に取り下げました。なお再申請の時期は未定です。

がんカテゴリー

- ・日本においてc-Met阻害剤ARQ 197のソラフェニブ治療歴を有するc-Met高発現の切除不能肝細胞癌を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。
- ・抗CCR4ヒト化抗体KW-0761（日本製品名「ポテリジオ」）は、皮膚T細胞性リンパ腫を対象とした第Ⅲ相臨床試験を米国、欧州及び日本等において、成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国及び欧州等において、それぞれ実施中です。

免疫・アレルギーカテゴリー

- ・日本において抗IL-17受容体A完全ヒト抗体KHK4827は既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症を対象として承認申請中です（平成28年7月4日承認取得）。
- ・抗IL-5受容体ヒト化抗体KHK4563の欧米等における権利の導出先であるアストラゼネカ社が実施している国際共同試験計画の一環として、KHK4563の喘息を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本及び韓国において、慢性閉塞性肺疾患を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本において、それぞれ実施中です。

中枢神経カテゴリー

- ・北米及び欧州等においてKW-6002（日本製品名「ノウリアスト」）のパーキンソン病を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

その他

- ・抗線維芽細胞増殖因子23完全ヒト抗体K R N23は、成人X染色体遺伝性低リン血症を対象とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を北米、欧州、日本及び韓国において、小児X染色体遺伝性低リン血症を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国及び欧州において、腫瘍性骨軟化症又は表皮母斑症候群を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国において、それぞれ実施中です。また、日本及び韓国において腫瘍性骨軟化症又は表皮母斑症候群を対象とした第Ⅱ相臨床試験を6月に開始しました。
- ・中国においてトロンボポエチン受容体作動薬AMG531（日本製品名「ロミプレート」）の慢性特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。また、日本及び韓国において再生不良性貧血を対象とした第Ⅲ相臨床試験を6月に開始しました。

バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、431億円（前年同期比4.1%減）となり、営業利益は34億円（同12.9%減）となりました。

- ◎ 日本の売上高は、前年同期並みとなりました。
- ・輸液用アミノ酸や医薬品原薬は、一部製品の価格下落や前年同期に集中出荷があった影響等により前年同期を下回りました。
- ・通信販売事業は、「オルニチン」のほか、新製品「アルギニンEX」が堅調に推移しました。
- ◎ 海外の売上高は、為替の円高進行の影響等により前年同期を下回りました。
- ・米州では、Cognizin（シチコリン）が米国で全国展開する健食チェーンのサプリメントシリーズに採用になり販売数量が増加したほか、輸液用アミノ酸が伸長しました。
- ・欧州では、前年5月の香粧品原料事業譲渡の影響のほか、為替影響等により前年同期を下回りました。
- ・アジアでは、医薬品原薬の競争激化等により、前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

- ◎ 総資産は、前連結会計年度末に比べ342億円減少し、6,865億円となりました。
 - ・流動資産は、親会社への短期貸付金等の増加がありましたが、たな卸資産や受取手形及び売掛金等の減少により、前連結会計年度末に比べ128億円減少し、3,115億円となりました。
 - ・固定資産は、為替影響や減価償却によるのれん及び販売権等の減少により、前連結会計年度末に比べ213億円減少し、3,749億円となりました。
 - ◎ 負債は、未払法人税等や未払金等の減少により、前連結会計年度末に比べ143億円減少し、915億円となりました。
 - ◎ 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありましたが、配当金の支払いに加え、円高による為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ198億円減少し、5,950億円となりました。
- この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇し、86.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

- ◎ 当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末の127億円に比べて22億円減少し、105億円となりました。
- 当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、268億円の収入（前年同期比17.2%増）となりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益181億円、減価償却費117億円、のれん償却額64億円等であります。一方、主な支出要因は、法人税等の支払額130億円等であります。
 - ・投資活動によるキャッシュ・フローは、200億円の支出（前年同期比14.3%増）となりました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出90億円、無形固定資産の取得による支出83億円、投資有価証券の取得による支出40億円等であります。
 - ・財務活動によるキャッシュ・フローは、71億円の支出（前年同期比0.6%増）となりました。主な支出要因は、配当金の支払額68億円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月21日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,236	10,907
受取手形及び売掛金	106,829	100,784
商品及び製品	61,965	54,873
仕掛品	12,363	11,528
原材料及び貯蔵品	10,476	11,888
繰延税金資産	11,147	10,551
短期貸付金	96,104	98,702
未収入金	7,692	3,962
その他	4,818	8,635
貸倒引当金	△202	△235
流動資産合計	324,433	311,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	141,227	136,681
減価償却累計額	△91,810	△89,086
建物及び構築物（純額）	49,417	47,595
機械装置及び運搬具	165,623	160,269
減価償却累計額	△134,994	△132,536
機械装置及び運搬具（純額）	30,629	27,733
土地	46,685	46,185
建設仮勘定	11,339	14,912
その他	51,124	49,373
減価償却累計額	△42,152	△40,992
その他（純額）	8,972	8,381
有形固定資産合計	147,043	144,808
無形固定資産		
のれん	155,851	140,101
販売権	56,233	52,005
その他	722	555
無形固定資産合計	212,807	192,663
投資その他の資産		
投資有価証券	14,043	13,148
退職給付に係る資産	6,964	8,391
繰延税金資産	10,355	9,855
その他	5,311	6,251
貸倒引当金	△194	△155
投資その他の資産合計	36,480	37,491
固定資産合計	396,331	374,963
資産合計	720,764	686,560

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,086	17,234
短期借入金	4,840	4,808
未払金	39,866	36,344
未払法人税等	11,830	6,833
売上割戻引当金	2,097	1,730
ポイント引当金	238	241
賞与引当金	427	323
その他	6,436	7,249
流動負債合計	84,823	74,765
固定負債		
繰延税金負債	12,092	9,745
退職給付に係る負債	1,883	1,769
役員退職慰労引当金	114	101
工場再編損失引当金	3,203	3,005
資産除去債務	404	214
その他	3,385	1,931
固定負債合計	21,082	16,768
負債合計	105,906	91,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	509,127	509,128
利益剰余金	85,997	89,920
自己株式	△26,881	△26,885
株主資本合計	594,989	598,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,979	1,590
為替換算調整勘定	18,819	△3,862
退職給付に係る調整累計額	△2,360	△2,104
その他の包括利益累計額合計	19,438	△4,376
新株予約権	430	496
純資産合計	614,858	595,027
負債純資産合計	720,764	686,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	178,837	174,056
売上原価	69,975	70,231
売上総利益	108,861	103,824
販売費及び一般管理費		
研究開発費	24,121	27,273
のれん償却額	6,694	6,490
その他	55,576	54,726
販売費及び一般管理費合計	86,392	88,490
営業利益	22,469	15,334
営業外収益		
受取利息	217	249
受取配当金	207	213
デリバティブ評価益	1,032	1,866
その他	414	405
営業外収益合計	1,871	2,733
営業外費用		
支払利息	24	22
為替差損	1,328	1,780
持分法による投資損失	2,271	2,063
固定資産処分損	194	309
その他	443	210
営業外費用合計	4,261	4,386
経常利益	20,079	13,681
特別利益		
固定資産売却益	—	2,901
債務免除益	—	1,334
投資有価証券売却益	—	256
受取補償金	619	—
特別利益合計	619	4,491
特別損失		
減損損失	3,282	—
火災による損失	209	—
特別損失合計	3,491	—
税金等調整前四半期純利益	17,207	18,172
法人税等	7,683	7,409
四半期純利益	9,523	10,763
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,523	10,763

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	9,523	10,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,250	△1,389
為替換算調整勘定	2,310	△22,546
退職給付に係る調整額	159	255
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△135
その他の包括利益合計	4,720	△23,815
四半期包括利益	14,243	△13,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,243	△13,051
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,207	18,172
減価償却費	11,240	11,719
減損損失	3,282	—
のれん償却額	6,694	6,490
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20	△49
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△685	△999
受取利息及び受取配当金	△425	△462
支払利息	24	22
持分法による投資損益(△は益)	2,271	2,063
有形固定資産除売却損益(△は益)	68	△2,865
投資有価証券売却損益(△は益)	△65	△256
売上債権の増減額(△は増加)	3,801	2,293
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,094	3,072
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,468	747
その他	△8,089	△480
小計	30,930	39,470
利息及び配当金の受取額	425	462
利息の支払額	△26	△14
法人税等の支払額	△8,400	△13,043
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,929	26,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,848	△9,019
有形固定資産の売却による収入	45	3,918
無形固定資産の取得による支出	△47	△8,315
投資有価証券の取得による支出	△5,200	△4,000
投資有価証券の売却による収入	65	776
定期預金の預入による支出	△960	△437
定期預金の払戻による収入	2,214	437
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△3,547	△2,627
その他	△249	△764
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,526	△20,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△71	△185
自己株式の取得による支出	△101	△4
配当金の支払額	△6,841	△6,840
その他	△99	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,113	△7,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,501	△1,962
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,213	△2,274
現金及び現金同等物の期首残高	17,013	12,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,800	10,509

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	134,911	43,925	178,837	—	178,837
セグメント間の内部売上高	425	1,096	1,522	△1,522	—
計	135,337	45,021	180,359	△1,522	178,837
セグメント利益	18,558	3,999	22,558	△88	22,469

注1. セグメント利益の調整額△88百万円は、セグメント間取引消去であります。

注2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	131,837	42,219	174,056	—	174,056
セグメント間の内部売上高	455	943	1,399	△1,399	—
計	132,292	43,163	175,455	△1,399	174,056
セグメント利益	11,662	3,482	15,145	188	15,334

注1. セグメント利益の調整額188百万円は、セグメント間取引消去であります。

注2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。